

# 日本地衣学会

# No.28

# ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告.....	97
	第5回青空地衣教室（京都高雄）の記録 / 山本好和.....	97

## 会務報告 Reports of the JSL Activities

### 第5回青空地衣教室（京都高雄）の記録

#### Report of the 4th Field Meeting (Takao, Kyoto)

京都のあの夏の暑さが戻ってきた。学会大会が開催された8月2-3日は、まだ今年の異常気象から抜け出ていなかった。北国秋田から来た私にとってはそれほどでもなかった。しかし、青空教室が開催された翌日は朝から京都特有の蒸し暑さであった。集合場所の京都駅に到着するだけで体力のかなりを消耗した。京都駅に集合したこの京都の暑さをものともしない面々は、吉村会長をはじめとする小山内、河原一家、河合夫妻、志賀、高橋、原と世話人の高萩（敬称略）らである。早速JRバスに乗り、今日の目的地である高雄に向かう。

高雄は市内から一つ山を越え、小一時間離れた場所にある。京都有数のもみじの名所でシーズンには歩道がまるで心齋橋並になるが、夏は涼を求める人が若干集まるくらいである。高雄バス停で下車、高雄神護寺への階段を下りようとする。カナブン集団（この命名は以前地衣類観察会に雑誌ビーバルの記者が参加したときに発言した言葉、「まるでカナブンみたいですね」に基づいている）は階段そばの石垣に貼り付いて写真撮影を開始し

た。今日は東海自然歩道を下って清滝まで行こうと思っていた世話人らの気持ちをよそに、集団はいつもの観察会と同様に動かない。カナブン集団、今日はどこまでいけるやら。

手には、「木毛」ウォッチングの手引き「近畿の地衣類 - 京都高雄・清滝・嵐山の地衣類」を携えている。この冊子には高雄・清滝・嵐山で認められた67種類が掲載されている。中でも高雄はそのうち53種類を数え、都会から小一時間の小さなエリアに多様な地衣相が認められ、地衣特別名勝に指定したいくらいである。さて集団は、こちらのカエデからあちらのカエデと移りつつ、樹皮一面のモジゴケやアオソメサネゴケの固着地衣、トゲハクテンゴケやキウメノキゴケ、ウメノキゴケなど葉状地衣を堪能しつつ、次第に暑さにめげてきた。なお一人元気だったのは高橋さん、あろうことか私が密かにしていたヘリゲセンソゴケの大群落を見つけ出していた。清滝川沿いにはヘラガタカブトゴケ、チヂレカブトゴケモドキがある。しかし、この20年で地衣相は次第に貧



図1 カエデに群がるカナブンたち（撮影：原 光二郎）

弱になり、サルオガセやツメゴケは特に減少した。パライロヒゲゴケ、アカヒゲゴケ、カプトゴケモドキは、今はもう見つからない。

正午を過ぎ、休息と昼食をとるため清滝川の河原に下りた。崖下の岩陰は風がありわずかに涼しい。河原一家の子供たちは水を得てなお元気である。ここには清滝川唯一のカワイワタケがある。カバイロイワモジゴケやイワニクイボゴケを見ながら昼食、地衣談義に時を過ごす。

### Lichenology 日本地衣学会ニュースレター とも、投稿先は：

原田 浩：〒260-8682千葉市中央区青葉町955-2  
千葉県立中央博物館、Fax 043-266-2481.  
E-mail: h.hrd3@mc.pref.chiba.jp

（原田浩：編集委員長）

### 複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌13号46ページに。

### Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication,

予定を変更してここから出発点の高雄バス停に戻ることにした。

行きのゆっくりペースに比べ、帰りは速い。カナブン集団は行きと帰りがまるでちがう。川口浩探検隊（知っている人いるかな？）のようである。しかしこの暑さ、致し方ないだろう。高雄バス停に戻り、京都駅行きのバスを待つ。帰りのバスでは暑さ疲れのためか京都駅までみんなぐっすりだった。

高雄は交通の便利もよく、これから何度か青空教室を開催したいと思っている。今回、いい教訓を得た。夏だけは避けよう。参加者の皆様、暑い中ご苦勞様でした。

なお、テキストとした冊子は希望があれば分与（有料）しますのでご一報下さい。

### 日本地衣学会第4回青空地衣教室概要

日 時： 2003年8月4日(月) 10:00～

場 所： 京都府京都市右京区高雄

参加者： 13名

（山本好和：第4回青空地衣教室世話人）

you or your organization must obtain permission. For details, see no. 13, p. 46 of this publication.

---

### 日本地衣学会ニュースレター 28号

発行日：2003年11月17日

編集： 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄  
発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内

---